大学入学共通テスト
記述式問題も見送り

１２月１７日（火）

２０２１年１月に実施される大学入学共通テストで目玉とされてきた２つの柱が実施されないことになりました。先月の「校長室より」でも，英語４技能民間試験の活用延期についてふれましたが，本日，文部科学大臣が，国語と数学の記述式問題の導入見送りも表明しました。結果的には，現在行われている大学入試センター試験とほぼ同じ形式になる見込みですが，「記述式がなくなってもセンター試験に戻るわけではない。初めて見る資料を読み解く問題などで思考力を測るという大きな流れは変わらないだろう」という意見もあります。

文部科学省は，今後も思考力や表現力を重視する方向性は維持する考えで，英語民間試験活用の是非は１年程度で結論を出すが，記述式問題は期限を定めず，当面は各大学の個別試験で積極的な活用を要請するとしています。

いずれにしても，多くの人の不安が現実となった形です。戸惑いや動揺を隠せない受験生も多いと思います。しかし，不易流行の言葉をかりれば，基礎基本を学び，その土台の上に発展学習をしていくということに変わりはありません。毎日の授業を中心に取り組む姿勢を堅持していきたいと思います。